

START AND UP!

Vol.108

12月定例会

平成24年2月3日



うちなだ議会だより

0才児の入園が増!	2
一般質問 -11人が登壇-	4
ありゃ～どうなったがいね～	15

12月

定例議会

6日～15日

入園が増!



定員を大きく上回る申し込み
(白帆台保育園)

補正予算 主な内容

**私立保育園
運営費負担金 3274万円**

当初見込みより延べ321人の増。
(0才・177人 1、2才・6人
3才・42人 4、5才・96人)

**障害者自立支援
給付費 4000万円**

施設への入所・通所件数の増加に伴うサービス給付費の増額。
当初見込み延べ1551人から1633人を見込んだ増額。

予防接種委託料 540万円

主に子宮頸がんワクチンの接種率が9月現在で74%と増加。

**管外保育所
運営費負担金 448万円**

内灘町より他市町へ通う園児への負担金。
月平均21人→11月現在33人

**エコエネルギーシステム
設置費補助金 140万円**

主に太陽光発電システムに現在23件申請があり今後10件分を見込み増額。

電力入線負担金 300万円

白帆台地区の電力入線申込みの増。
10月現在まで51件、今後40件の増加を見込む。

自動車借上料 74万円

除雪体制を強化する為にパトロール車2台を借り上げる。

平成23年第4回定例会が開催され、補正予算6件のほか、条例2件、指定管理者の指定など15件の議案を審議し、すべて可決しました。一般会計では、9701万6千円を追加し、総額は81億1391万4千円となりました。

表紙
新年の1月15日に開催された町制施行50周年の記念式典では、町内の小学校5校の児童による愛唱歌がそれぞれ発表され、未来に向かっての
出発となりました。

私立保育園の充実により 0才児の

補正予算

公共下水道事業特別会計

交付金追加内示に伴う事業費の増により、5382万3千円を追加し、総額を13億4656万7千円としました。

(全員賛成)

国民健康保険特別会計

退職療養給付費等、出産一時金の増に伴う補正で5126万3千円を追加し、総額を28億1853万1千円としました。

(全員賛成)

後期高齢者医療特別会計

保険料軽減対象者数の確定に伴い19万3千円を追加し、総額を1億9469万3千円としました。

(全員賛成)

介護保険特別会計

居宅介護サービス給付費の増に伴い6150万を追加し、総額を13億371万9千円としました。

(全員賛成)

条例

子どもの権利条例

子どもの権利を尊重し、健全な成長と幸せを願い制定

(全員賛成)

消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例

団員の確保を図るための改正

(全員賛成)

契約の締結

浄化センター中央監視制御設備更新工事

契約の相手方
メタウォーター(株)営業本部中日本営業部
契約金額
8954万円

(全員賛成)

人事案件

教育委員

西尾 雄次 氏 (再任)
(賛成7・反対6・棄権2)

公共施設管理者の指定 (全員賛成)

管理者	施設名
財団法人 内灘町公共施設等管理公社	福祉センター(憩)、茶室(惜亭・自在庵)、体育施設(野球場・総合公園テニスコート)、サイクリングターミナル (平成24年度)
特定非営利活動法人 スポーツクラブ プラッツうちなだ	体育施設(総合体育館、総合グラウンド、武道館、鶴ヶ丘テニスコート、弓道場、向栗崎体育館、勤労者体育センター) (平成24年度・26年度)

第2回 臨時議会 — 11月28日 —

★条例の一部改正

一般職の職員の給与に関する条例等
《人事院勧告に従い給与の引下げ等》

一般職員
・ 給料表月額引下げ(0.23%の減額) ・ 若手・中堅層の昇給抑制の回復

★規約の変更

石川県市町村職員退職手当組合規約
石川県市町村議会議員公務災害補償組合
石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約
《野々市町の市制施行に伴う所要の改正》



藤井 良信 議員

民間活力を活用せよ

官民パートナーシップを研究

町長

社会資本整備

藤井 国文省からの社会資本整備では、PPP

※の総括テーマが示されている。その原文から「できない理由を挙げるのではなく、できるために何をやる必要があるかまで踏み込んだ積極的な議論を行う」とある。

総括テーマについて、町長はどう感じるか。

町長 「PPP、官民パートナーシップ」の考え方は時代に合ったものであり、今後さらに広がっていくと思う。行政が指示をし、民間が作業するこれまでの考え方を改め、行政と民間がともに考え、よりよいパートナーシップを多面的に研究していきたい。

藤井 具体的には。

まちづくり政策部長

行政は施設収入の早期回収ができ、民間事業者は資金調達の円滑化と自由度の高い事業運営が可能となる。

藤井 コンセッション方式を積極的に導入せよ。

まちづくり政策部長

必要な社会資本の整備や更新には民間資金や創意工夫を最大限活用する。

※PPPとは、産業創出における官民連携。※PFI法とは、公共事業における民間資金活用の法制度



生涯現役！緑台公民館でのNOSS体操
(日本踊りスポーツサイエンス)

藤井 民間資金活用事業推進会議を創設せよ。

まちづくり政策部長

PFI法の改善を踏まえて、その有効性を研究していく。

プラチナ社会

藤井 今後のプラチナ社会構想の展開は。

まちづくり政策部長

医科看護学部と旭ヶ丘の高齢者グループとの交流事業や、民間事業者からの提案として、環境負荷低減モデル事業に期待している。

藤井 町民から介護専門学校やリハビリセンターの要望があるが、町の考えは。

町長 町民と行政の協働で整備手法を進めることは大切であり、実現の可否は検討の必要がある。



太田 臣宣 議員

伐採後の安全対策を

早急に整備する

都市整備部長

コミュニティ

太田 鶴ヶ丘3丁目の

松の木を伐採した、医科大通りの鶴ヶ丘5丁目バス停付近東側の区間は、

裏側が急斜面で、自動車事故によって車が転落する危険があり、歩道は自転車も通行可能で、同様に危険である。

街並みの景観を考え植樹や植林をし、ガードレールやガードパイプを早急に設置せよ。

都市整備部長 年内にはカイツカイブキを1・5m間隔で植栽する。

また交通事故が起きれば、車がカイツカイブキを突き破り転落するおそれがあり、人命や道路下の住宅に被害がおよぶ可能性がある。早急にガードパイプを設置する。

町長 高齢者の公民館の利用実態は。

生涯学習課長 各種教室やサークル活動などで多くの高齢者が定期的にご利用している。

太田 子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる公民館環境の構築を。

町長 公民館に働きかけ、具体的に協議を進めていく。

太田 子どもたちが安全に集えるように施設を改修せよ。

町長 環境整備について可能な限り支援する。

部活動

太田 世代を超えて触れ合えるモデル公民館を設置できないか。

町長 可能性を見きわめ、公民館と連携して、試験的な事業の実施を検討していく。

教育次長 全教職員が顧問または副顧問となっており、顧問の配置計画が難しい。

太田 中学校に自転車、トランポリン、空手部を新たに発足させよ。

教育次長 使用できる体育施設も飽和状態であるため、地域の活動の中でお願したい。

太田 スポーツ競技の継続性を図るため、中学校にない部活動の創設について町の考えは。

教育次長 地域の団体が指導するクラブで活動することで、スポーツの継続性が図られる。学校でも生徒の募集、啓発に協力したい。

太田 愛好会やサークルとして創設できないか。

教育次長 学校や体育関係者と検討したい。



ガードパイプで安全対策を

一般質問



北川 悦子 議員

介護保険料を引き上げるな 抑制に努める 町長

北川 H24年4月以降、国費による介護労働者の処遇改善交付金が継続されずに、介護報酬の引き上げで対応する方向も示されている。
来年度からの介護保険料引き上げが心配されているが町の考えは。

町長 第5期介護保険料の改定は、現在、介護保険事業計画策定委員会で審議中である。

保険料の算定は国の方針等に基づき、県の財政安定化基金および町の介護給付費準備基金を負担軽減の財源として活用し、保険料の引き上げ抑制に努める。

北川 法改定では市町村の判断で介護予防・日常生活支援総合事業を創設できるが、導入は。

町民福祉部長 国、県の動向と他市町の取り組み状況を注視していく。

北川 待機者のいる特別養護老人ホームの増設計画はあるのか。

町長 現在のところ、2つ目の特別養護老人ホームは考えていない。

北川 暮らし・福祉の相談窓口を設けよ。
総務部長 町民生活課がワンストップ体制で対応している。わかりやすい案内掲示にする。

相談窓口

北川 窓口での相談は、職員の中で共有されているのか。

総務部長 記録を保管し、関係職員で情報を共有して、類似の相談等の参考にしている。

施設使用料

北川 体育施設使用料見直しの中で、負担がふえ、だれもが親しむことができるスポーツ理念から外れる。

教育次長 限られた体育施設を有効活用して、潜在的なスポーツ人口の拡大をめざし、生涯スポーツの振興を図っていく。

北川 住宅の耐震化率は、H18年度末で73%、H27年度末までの9年間で90%にする目標が掲げられている。現在の耐震化率はどれだけか。

都市整備部長 H18年度以来調査していないが、5年経過するH23年度末の耐震化率について今後調査を実施したい。

北川 耐震改修工事費等補助制度は、今まで何名の方が利用したのか。

都市整備部長 H20年から現在までの補助制度の活用はない。

北川 町の業者に依頼する住宅リフォーム助成制度を創設し、耐震化補助にも拡大すべきだ。

都市整備部長 県内の動向を注視し、引き続き検討していきたい。



老後の安心は充実した介護を（夕陽ヶ丘苑）

耐震

いじめの実態を把握せよ

連携し対応する 教育長

酒本 いじめ問題は、

件数が多い少ないにかかわらず、問題が生じた際
にいかに対応し、解決
その悪化を防止し、解決
に結びつけることができ
るかが重要。

学校がいじめを認知で
きないケースが懸念され
る。いじめの実態把握に
どのような取り組みを行
っているのか。

教育長 小学校では友

達アンケート、なかよし
調査という名称で、年3
回から5回、中学校では
年3回の定期的ないじめ
調査を行っている。

また町独自で、楽しい
学級生活を送るためのア
ンケート調査などで状況
を把握し、早期発見のシ
ステムをとっている。

酒本 アンケート調査

等のデータ公表の予定は
ないのか。

教育長 県教委には報

告しているが、町におい
ては特に公開していない。

酒本 学校がいじめを

認知できないケースがあ
るのではないか。

教育長 町教育センタ

ーの専用電話で、直接子
どもからの悩み事も聞け
る体制をとっている。

酒本 医療機関など専

門機関との連携が求めら
れる。

教育長 臨床心理士に

よる教育相談を定期的
に設けている。

酒本 学校に対し、積

極的な指導を行え。

教育長 教師で組織

する専門委員会を開催し、
保護者や関係機関と対応
しよう。



楽しかった表現会（鶴ヶ丘保育所）

自家発電機

酒本 原発再稼働の遅

れなどにより、今冬にと
どまらず来夏も電力不足
が続く見通しである。

町では、幸い計画停電
などは行われなかったが、
今後のあらゆる災害に備
え、自家発電機の供給拡
大の予定はないのか。

町長 来年度予定して

いる地域防災計画の修正
作業の中で、自家発電機
の設置場所、規模および
燃料の確保等を総合的に
勘案し検討する。



酒本 昌博 議員



清水 文雄 議員

まちづくり基本条例案は

答申時点で議会へ 町長

清水 約2年にわたり、まちづくり町民会議の皆さんが中心になって進めている。制定に向けた計画では、12月議会にその案が提出される予定だ。まちづくり基本条例制定の意義と目的を聞く。

清水 条例案の議会への提出はいつになるのか。

町長 町民会議からの答申時点で議会へ上程したい。

清水 取り組みの経過と進捗の状況は。

町長 町民会議で延べ42回審議。条例素案は6月に議会に示し、総合的な意見を待っている。

清水 町長の公約にもある住民投票条項についての考えは。

町長 議会議決を経て実施できる非常設型を考えている。

原 発

清水 北陸電力株式会社との安全協定の具体的な中身は。

町長 安全対策の変更、事故等異常時に直接正確な情報が最も重要だと考えている。

清水 来年に向け、原子力防災を含めた防災訓練の具体的な進め方の考え方は。

総務部長 羽咋市の原子力防災に関する訓練項目の中で、実施可能な訓練項目を取り入れたい。

放射性ヨウ素剤

清水 国は、放射性ヨウ素防護地域、PPAを50キロ圏とする動きにある。町としてのヨウ素剤の備蓄のあり方、あるいは配布体制の考えは。

総務部長 保育所や小中学校へ配備を進めたい。備蓄上の管理体制を図り、服用マニュアルの作成や職員研修など、取り扱いには十分な対策を講ずる必要がある。

清水 防災対策を専属にした専門部署等の設置が必要ではないか。

副町長 人員を強化し、専門部署の体制も含めて対応したい。

清水 町の給食に対する放射能汚染対策は。

教育長 福島、茨城、群馬、栃木、千葉県産の野菜と牛肉、近海魚は使っていない。

清水 給食センターに放射線測定器を配備していく考えはないのか。

教育長 国の助成措置が拡大されるまでの間は、今の対応でいきたい。



西荒屋小学校での放射線量測定



恩道 正博 議員

町財政への影響は

国の予算編成を注視

まちづくり
政策部長

【恩道】 各省庁は九月に
来年度予算要求の概要を
発表。その内容は、我が
国の最優先課題である東
日本大震災の復旧・復興
及び原子力災害の収束に
向けた予算である。
今後、重点施策の実行
と財政の健全化を進めて
いく上で、影響はどのよ
うに考えるのか。

【まちづくり政策部長】
財政は健全化判断比率、
公債比率、将来負担比率
はともに安定している。
しかし基金が減少し、
公債費の償還がピークを
迎えることや、民生費な
ど社会保障費の増加によ
り来年度の予算編成は大
変厳しい。
今後とも国の予算編成
状況を注視したい。

街灯に補助

【恩道】 各町会が管理し
ている街灯、防犯灯は、
経年により劣化している。
蛍光灯からLED照明
に取りかえる場合、町は
補助制度を設けて積極的
にLED照明の設置を働
きかけ、CO₂削減に向
けた地域活動を強力に推
進することを提案する。

【町長】 現在、さまざま
な製品が開発されており、
照明の明るさや耐久性お
よび電気料などの中長期
的な費用対効果を検証し
ている。

省エネや環境問題等に
積極的に取り組んでいる
地域を対象に、補助金制
度を前向きに検討したい。

【恩道】 省エネや環境問
題を積極的に進める町会
に対して、補助金制度の
導入を考えているのか。

【町長】 **地域版環境ISO**
O※を取得している町会、
区会が町の施策を理解し、
町民に広く浸透させるた
めにも、LED照明を積
極的に導入していく。

初期投資の問題も含め
財政的にも検討し、エコ
タウン内灘を目指す。



研究発表をする大根布小のみなさん
(環境フォーラム)

？※地域版環境ISO
とは、公民館活動や町
内会活動などの自治会
活動において、楽しく
効果的に環境保全活動
に取り組むための指針
「いしかわ地域版環境
ISO」に基づき、環
境保全活動に取り組
む地域として町内の公
民館では、白帆台と大
根布が認定されていま
す。



武道の必修化を問う

心身の発達に重要

町長



渡辺 旺 議員

渡辺 H24年度から中学校の保健体育で、必修化される武道をどのように受けとめているのか。

町長 子どもたちの規範意識を高くむすんで極めて有効かつ重要な教育的要素を持つ。

成長過程の中学生が、武道を通して伝統や文化に関する教育を受けることは、心身の発達や成長のために非常に重要なことだ。

渡辺 柔道、剣道どちらを必修課題に採用するのか。

教育次長 河北郡市校長会では、種目の検討をH21年中に行っており、柔道を必修課題とする

渡辺 必要な柔道着の購入はどうするのか。

教育次長 河北郡市では、柔道着の購入は個人負担で、1着の購入費用2900円。衛生面からも個人所有が適切である。



元気いっぱい、技あり！（柔道教室）

街路樹

渡辺 街路樹が伸び放題になっており、剪定が必要である。

ことし、街路樹が電線に触れて付近一帯が1時間ほど停電になった。今後、管理はどのようにするのか。

都市整備部長 歩行者の妨げになる枝や、宅地へ入るような枝落しなど定期的に行っている。今後、一層の街路樹管理に努め、樹形の整っていない街路樹などの剪定を行い、町並みの景観保全に努める。

渡辺 干拓地内の松の木はほぼ全滅している。

都市整備部長 今年は特に松くい虫の被害が多く目につき、松の伐採が追いつかない状況。

渡辺 関係機関と協議し、抜本的な方策を考える必要がある。

都市整備部長 補助事業を活用し、順次伐採と薬剤散布などで予防措置をとる。

桜並木

渡辺 干拓地内の津幡町に向う道路両側を、桜街道として名所にするようにせよ。

都市整備部担当部長 適正に管理し、桜の名所となるよう努める。



なぜ全部伐採したのか

落葉で民家に迷惑

都市整備部長

除雪体制

能村 鶴ヶ丘3丁目地

内の樹齢35〜40年の松440本を今年10月にすべて伐採した。

クロマツは1年間通して緑を絶やさず、飛砂防止等に役立つ。54年に町木に制定されたクロマツをすべて伐採したことに、多くの町民から疑問の声が上がっている。

都市整備部長 松葉が

風で落ち民家の雨どいが詰まる等、迷惑をかけていたため町会と話し合い、

3カ年計画で毎年1/3ずつ伐採することにした。

今年4月に、町会と協議し、残り全部を切ることにした。後にはカイヅカイブキを植える。

能村 残り140本は

剪定をし、落葉を少なくすることで残せなかったのか。

都市整備部長 一度剪

定をしたが枯れた経緯があり、すべて伐採した。

能村 地元の声だけで

伐採して本当によいのか。

町長 今後は残すことを前提に指導する。

能村 2020年まで

に年間2万トンのCO₂削減に努力しているが影響は。

都市整備部長 松を伐

採した影響はあるが、緑化を進め削減に向け努力する。



伐採前



伐採後、あのクロマツは今どこへ

高齢者見守り

能村

現在の緊急通報装置は、家の中しか使えず、利用者の状況確認が難しい。

最新の緊急通報装置は、ペンダント型で外出先でも使用でき、24時間体制で待機している看護師、救急車なども連絡を取ることができ。新型装置を導入せよ。

町民福祉部長

高齢者世帯の増加に伴い、通報の増加が予想され、緊急通報装置の充実が重要。24時間対応可能な相談センターの設置も検討し、

高齢者の方が地域で安心して生活ができるよう、早急に見守り体制の整備充実を図る。

都市整備部長

昨年と同じ33台を確保し、道路パトロールの充実を図る。

能村

児童が車道を歩くのは危険。通学時間帯までに歩道除雪をせよ。

都市整備部長

なるべく早い時間帯に、歩道のスペースを確保したい。

能村

民間の空地や公園を、除雪の際に雪置場に活用できないか。

都市整備部長

近隣市町の対応や課題を整理し、来年度以降に反映させたい。



能村 憲治 議員



水口 裕子 議員

原発再稼働は住民投票で

問うような事案ではない 町長

発達障害

水口 志賀原発の運転再開は内灘町民にも意思表示の場があるべき。

町民は脱原発を支持している。投票の結果をもって強く県や北陸電力に対峙せよ。

水口 谷本知事の「国の指示待ち」対応についてどう思うか。

町長 我々の声を国に届けてほしかったが、かなわず残念だ。

水口 給食に福島や周辺の作物を購入しない、県内唯一の自治体だ。

教育長 町の給食は、可能な限り放射性物質を避けるべきと判断。

アカシア

水口 アカシアをふやせという質問のその後は、

都市整備部長 ボランティアを募集し、植栽を実施したい。

戦跡遺跡

水口 内灘闘争60周年になる。トーチカの文化財指定進捗状況は。

教育長 文化財保護審議会は、戦跡遺跡に準ずると判断。町の文化財に指定すべきと答申した。

水口

発達障害児は、H20年から増加し、相談員制度が必要。

町民福祉部担当部長

発達障害相談員が、保護者の相談に応じることができるようになれば、保護者目線での支援が期待できるが、まだ制度が確立していない。

町長 志賀原発の再稼働は、住民投票制度で住民に意見を問うような事案、状況ではない。

住民投票の多用はかえって混乱を招く心配もあり、執行は慎重に、かつ議会の十分な議論の中で検討するものだ。

水口 UPZ拡大は、県に裁量が任されている。三度目の申し入れを。

町長 今後も国、県に對して要望する。

水口 粉ミルク汚染は公的機関でなくNPOが見つけた。

教育長 放射線測定器配備の範囲が広がるよう要望していく。



戦跡遺跡に指定を (着弾地観測所)

水口 権現森と霊園両公園は、残された大切な自然。道路整備で破壊されないよう保護せよ。

都市整備部長 権現森の自然は重要なもの。道路整備をするにしても、影響を最小限にすべきと考える。

水口 発達障害者の中には夕陽ヶ丘苑(福祉避難所)で高齢者や乳幼児と共にいることが難しい人が含まれる。適当な所と避難所提携を結べ。

総務部長 町内及び近隣の市町の障害者を受け入れることが可能な施設と協議をしていく。



生田 勇人 議員

園児増加への対応は 建設を前向きに検討

町長



白帆台にもう一つの保育園を

生田 白帆台保育園の園児数が国の定める基準の限界に近く、特別保育もままならない状況が近年続いている。
年度途中で定住された保育児の受け入れや、特別保育を充実させることが望ましいが、今後更

町長 転入してきたのに入園出来ないという不満の声もあがっている。
来年度は理解を得ながら調整せざるを得ない状況だが、子育て支援施策の充実と定住促進を掲げる町としては、白帆台の保育環境の拡充は喫緊の課題であり、当地区にも一つ一つの保育園の建設も前向きに検討していく。

生田 使用料見直しはスポーツ人口の減少、流出を引き起し、トップアスリートの育成や生涯スポーツの推進など、当町が掲げるスポーツの町内灘の基本理念と相反する。プラッツのあり方など、スポーツ推進の将来的な指針となる計画を示し、使用料・時間・減免規定など、各種団体と意見交換や議論をすることが必要である。

教育次長 チャンピオンシップをめざすスポーツと生涯スポーツとの両面から、総合型地域スポーツクラブの位置づけや体育施設の環境整備のあり方、指導者育成方針などを盛り込んだ内灘町スポーツ推進計画を速やかに作成したい。
料金改定は検討委員会からの答申内容を尊重し、施設利用団体と協議を重ね、並行して取り組んでいきたい。

生田 現改定案で使用料を徴収した場合、いくら収入増となるのか。
教育次長 重複使用予約も含め、減免されておよそ1200万円となる。
生田 そのうちスポーツ少年団の負担金額はどれくらいか。
教育次長 240万円の収入を見込んでいる。うち重複予約分は90万円。

施設使用料



より高く、より美しく（トランポリン教室）



八田 外茂男 議員

内灘 IC は当然必要だ

北部地区の活性化に 都市整備部長

八田 本年9月議会で、私は内灘インターチェンジ（IC）の場所について町長に伺った。その答弁が、現在も変わっていないか、再度問う。

八田 内灘料金所と白帆台中央部のフルIC化は、どちらも約6億円の概算事業費となっている。国から補助が出た場合、町の負担はどれだけか。

八田 少ない費用で大きな効果が得られるように知恵を出し、議論を進めるためにも、長所、短所を示せ。

町長 9月議会では総務産業建設常任委員会審議の中で、白帆台中央部でのフルIC整備が最適であるとの意見だったが、町は交通量の増加による住環境の悪化や、補助事業の採択が可能かどうか、さまざまなハードルがある。

企画財政課長 利子も含め、20年間の返済で計算すると約3億1000万円になる。そのうち交付税算入額が約6300万円なので、町の負担は総額2億4700万円となる。

都市整備部長 乗り口と降り口が別々になると、利用者が混乱し、利便性も落ちる。白帆台ハーフICでは建設費は安くなり、交通量も当然少なくなる。

八田 国の補助事業でも、町がどこまで負担できるか、将来に対して責任ある行政をするため、この計画を再度考える必要がある。

八田 白帆台地区で、小学校、消防庁舎、保育所等の建設計画があり、また総合公園の第3次拡張、公民館等の耐震化工事等、少しでも町の財政を有効に利用する必要はある。

八田 この整備事業で変更した点はない。

八田 財政が厳しい中、H22年度決算では投資的経費はどれだけか。

企画財政課長 投資的事業に充当した一般財源は、約4億4700万円だ。



閑静な住宅地白帆台、発展の鍵は

都市整備部長 ICの位置が決定した段階で投資効率を算出する。交通アクセスが向上することにより、当然白帆台の定住促進につながり、北部地区の活性化、町の元気につながると考えている。

町長 フルICより建設費が安く抑えられ、交通量増加の問題も解決され、一つの方策と考えられる。

現実に総務産業建設常任委員会での審議を踏まえ、説明会を開いて住民のコンセンサスを得るため、その推移を見守りたい。

追跡

ありゃ～どうなったがいね～

千鳥台4丁目交差点に信号機設置を

コンフォモール内灘への出入りや、千鳥台4丁目、5丁目の住宅も増えている。石川県公安委員会に対して信号機の設置を強力に要請せよ。

平成21年・22年12月議会 清水 文雄 議員

答 弁

強く要望していきたい

津幡警察署を通じ県公安委員会に要望していく。

その後

昨年10月3日に点灯式

平成23年10月3日に安全、無事故を願い点灯式が行われました。昨年4月から千鳥台幼稚園が開園し、通園する園児や送迎の保護者、千鳥台地区住民、コンフォモール内灘への買い物客、そして夏場は海水浴客の安全確保が期待されます。



青信号、元気に渡る子どもたち

大根布保育所の民営化移転先は大根布にせよ

民営化報告書では、ハマナス地区に移転する案が提出されている。大根布地区では、隣近所のおじいちゃん、おばあちゃんと協力して子どもたちを送迎している。大根布区民の総意として、この地で建設せよ。

平成20年3月議会 中川 達 議員

答 弁

保育環境を第一に考える

適正規模をもとに十分な保育スペースや駐車場の確保など、保育環境を第一に考える。

その後

平成23年4月に3保育園がオープン

平成23年4月から、大根布小学校横の大根布第3公園跡に保育園がオープン。またハマナス地区にも鶴ヶ丘乳児保育園が移転して、公民館横に新規オープンしました。今後は鶴ヶ丘地区での保育所民営化を進めていく計画です。



夢いっぱいの大根布保育園児

された意見書

議員提案



国会議事堂

提出先

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣、文部科学大臣、
経済産業大臣、内閣官房長官等

円高から中小企業を守る対策を求める (全員賛成)

提出議員 南 守雄
賛成議員 川口 正己 恩道 正博
酒本 昌博 太田 臣宣

趣 旨

- ・雇用対策および地域雇用の創出策として、雇用関連基金を積み増し、事業の延長
- ・円高による倒産に対し、相談体制の整備や対策の強化
- ・負担転嫁やダンピング防止など監視・防止策の強化

災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める (全員賛成)

提出議員 渡辺 旺
賛成議員 恩道 正博 中川 達
中島 利美 酒本 昌博

趣 旨

- ・学校施設防災機能向上のための制度創設
- ・公共施設など計画的な老朽化対策推進
- ・地盤の液状化など宅地被害対策の強化

防災会議に女性の視点を取り入れることを求める (全員賛成)

提出議員 藤井 良信
賛成議員 南 守雄 渡辺 旺
中島 利美 川口 正己
能村 憲治

趣 旨

- ・中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること
- ・地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するため、有識者枠を設ける災害基本法の改正

視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める (全員賛成)

提出議員 生田 勇人
賛成議員 川口 正己 恩道 正博
酒本 昌博 太田 臣宣

趣 旨

- ・携帯用ラジオに、テレビの地上デジタル放送の受信機能を付加すること
- ・視覚障がい者の使いやすさを考慮し、テレビの開発推進すること
- ・テロップ・字幕の読み上げを大幅に増やすこと



議会定例会の一場面

請願の審査結果

■採択

国民生活の安心と向上を図る各種基金事業を継続するための予算確保を求める
(全員賛成)

請願者 公明党内灘支部女性局
委員 内藤美奈子 (内灘町)

■採択

「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める
(全員賛成)

請願者 石川県医療労働組合連合会
執行委員長 鈴木 森夫 (金沢市)

■継続審査

大幅増員と夜勤制限で安全・安心の医療・介護の実現を求める
(継続に賛成14人、反対1人)

請願者 石川県医療労働組合連合会
執行委員長 鈴木 森夫 (金沢市)

国民生活の安心と向上を図る各種基金事業を継続するための予算確保を求める
(全員賛成)

請願者 公明党内灘支部女性局
提出議員 藤井 良信
賛成議員 中川 達 生田 勇人
基金事業の継続

- ・子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金
- ・安心子ども基金、妊婦健康診査支援基金
- ・介護職員処遇改善等臨時特例基金
- ・障害者自立支援対策臨時特例基金
- ・地域自殺者対策緊急強化基金

「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める
(全員賛成)

請願者 石川県医療労働組合連合会
提出議員 北川 悦子
賛成議員 能村 憲治 川口 正己

消費税増税反対を求める

(全員賛成)

請願者 消費税廃止石川県各界連絡会
提出議員 北川 悦子
賛成議員 川口 正己 能村 憲治

原子力発電所の安全対策の抜本強化を求めるとともに、将来的に原発に頼らないエネルギー計画作成を国に求める
(全員賛成)

請願者 新日本婦人の会内灘支部、健康で暮らそう内灘の会、全日本年金者組合内灘支部
提出議員 北川 悦子
賛成議員 生田 勇人 藤井 良信

総務産業建設常任委員会

Q 以前から要望のある、北鉄浅野川線の車イスの利用は怎么样了か。

A 北鉄と交渉し、今後利用について協力する旨を書面で受けとり、特別支援学校に報告した。

Q 高額納税者に対する「ふるさと納税」の案内やお願いは怎么样了か。

A 申込20件中14件は町職員。今後ホームページ等の活用により周知を図っていく。

Q 路面改修工事は、老朽化や破損状況が見られないところも行って、全て必要なのか。

A 大型車輛などの通行により、亀裂が入っているため、雨水の浸水防止等、必要に応じて行っている。

Q まちづくり基本条例は、町政50周年に合わせて作らなければいけないのか。

A 50周年の節目に披露できるように進めてきた。



盛大に開催された町制50周年式典

まちづくり基本条例

議会では、条例の内容についてより良いものにするため、今後町民会議との意見交換の場を開催する予定。町民会議では議会との意見交換会を踏まえて、最終的な方針を町長に提出する予定とのことです。

視察レポート

① 日程

平成23年11月17日～19日

② 視察先・目的

- ・福岡県つきは市
(まちづくり基本条例)
- ・大分県日田市中津江村
(スポーツ・宿泊施設)
- ・福岡市民防災センター
(防災訓練設備)

③ 感想

・「つきはもんがつくる憲法ばい！」の言葉通り、市民の想いがそのまま条例になっていました。

特に中学生ともワークショップを実施し、関心をもってもらったことはすばらしい。

・中津江村は日韓ワールドカップのカメルーンチームが合宿をしたことで一躍有名になりました。

山奥に宿泊施設を完備したスポーツ施設を作り、カメルーンチームを招くことができ、村民の夢が実現しました。

内灘町にもいつかは…。

・市民防災センターは、台風、火災、暗やみでの避難などさまざまな体験ができました。消火器の使い方は何回でも訓練しないと、やっぱり忘れてしまいます。訓練にまざる訓練はなし！

(中島)



元中津江村長の坂本さんの熱弁

文教福祉常任委員会

Q 体育施設使用料の見直しが検討されている。特に小学校グラウンドなどの料金負担は子どもたちがこれまでのように使えなくなり、親への負担も大きくなる。

A 施設利用が均等に使われず、先行する団体が優位を占めていて、後発の団体が出てきても入る余地がない。事態を何とか改善したいとの考え方があがる。

Q 平等に使える機会を設ける趣旨であれば、スケジュールの調整や時間、回数制限で可能ではないか。

A 検討委員会でのさまざまな意見を踏まえ、町としての考え方を明らかにしていきたい。

Q スポーツ推進における基本計画を進め、プラッツのあり方も含めて町の指針を決めてから検討すべきである。

A チャンピオンスポーツ、生涯スポーツなどのあり方を考え、より多くの人が施設を有効利用できる仕組みを作らないといけない。

Q 「平成24年度町内保育所の入所申し込み状況」は、白帆台に住みながら白帆台保育園に入園できない実態がある。

A 園児の急増により、申し込み数が定員を大きく上回っている。現在はまなすと大根布保育園に入所できるように、保護者の方に理解を求め調整している。

● 視察レポート

① 日程

平成23年10月25日～27日

② 視察先・目的

- ・ 沖縄県浦添市(健康づくり)
- ・ 那覇市(支え合いマップ)

③ 感想

・ 浦添市では、肥満が生活習慣病に関係していることから「3kg減量市民大運動」を掲げ、インターネットで健康チャレンジ日記を活用し、日々の体重等の変化をグラフなどで確認し、3ヶ月間で無理なく3kg

ダイエットをめざしていました。

また特定健診でも要検査の方には個別指導を行っており、それに携わっている職員の熱意が伝わりました。

・ 那覇市社会福祉協議会では行政・民生児童委員・世話好きさん(ボランティア)が一人暮らし世帯を把握し、50～100世帯単位で「支え合いマップ」を



マップで支え合いを

作成していました。その地域の中で一人暮らしの方々に声をかけ、サロンの場所を提供して、地域の中で高齢者が集い、触れ合える環境を整備していました。また地図を作成することは、災害時の避難にも役立つとのことでした。

この視察を参考に、議会としても、マップの検討をしていきたいと思えます。

(太田)

環境開発対策特別委員会

インターチェンジ（IC）整備事業

Q 料金所案と白帆台中央案との環境への影響の違いは。

A 料金所案は森林の伐採面積が大きくなり、環境への影響は大きい。白帆台中央案では道路の拡幅程度と推測され、影響は少ない。

Q いつまでに位置を決めないといけないのか。

A 年度内に、県へ報告したい。

Q 9月議会で提出された設計費1200万円はどうなっているのか。

A 位置が決定次第、県と協議する。

Q 白帆台での住民説明会は、どのような形でおこなうのか。

A 白帆台フルICで、経緯を説明する。



どうなる インターチェンジ

広報対策特別委員会

視察レポート

①日程

平成23年10月31日～11月2日

②視察先・目的

・北海道南幌町議会

（議会だより）

・北海道栗山町議会

（議会だより）

・北海道新聞本社

（紙面づくり）

③感想

・南幌町の議会広報誌は、昭和58年から発行され、平成17年からは経費削減などの理由で町広報誌の中に議会だよりのページを確保し掲載され、また広報委員も女性議員4人で大変めずらしい所でした。

・栗山町は日本ではじめて議会基本条例を制定したところで、議会だよりにも開かれた議会のようすがとてもわかりやすく情報発信されていました。

・北海道新聞社では新聞が出来る上がるまでの工程と、特に写真の撮り方、見出しのつけ方、編集など参考にになりました。

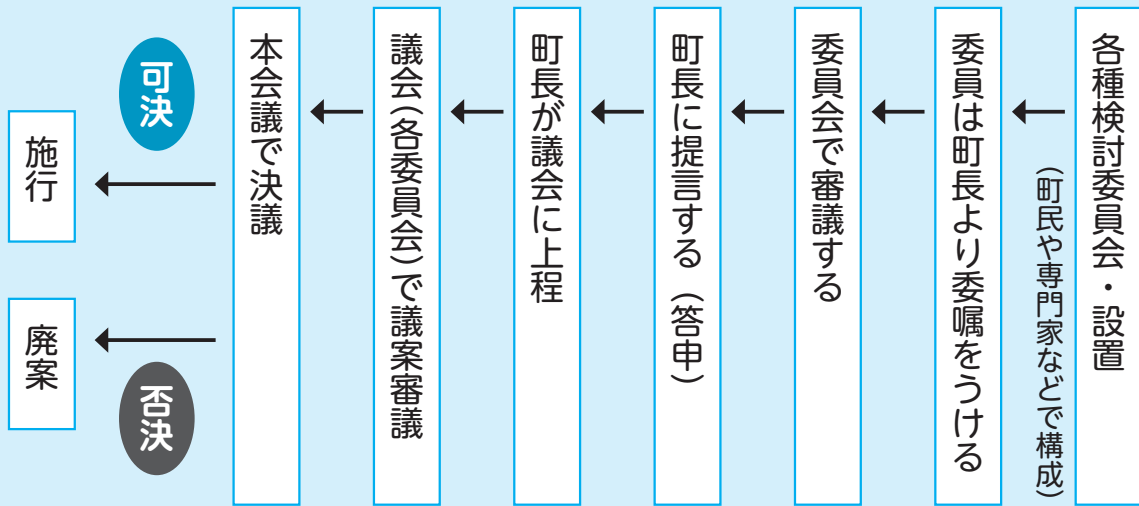
・今後視察で得たことを紙面に活かし、発信していきたいと思えます。

（北川）



北海道新聞社での研修

「条例が成立するまで」



議会の委員会ってなに？

行政側から提案される課題が多岐にわたるため、課題別に少人数の委員会をつくり、さまざまな活動を行うものです。委員会には、常任委員会と特別委員会があります。

●常任委員会

内灘町議会では、総務産業建設常任委員会と文教福祉常任委員会の二つがあります。議員は必ず一つの常任委員会に所属しています。本会議で付託された議案や請願などを審査するために設けています。

○総務産業建設常任委員会 (8名)

税・財政・道路・除雪・土地開発・霊園・公園・防犯・消防などに関する事項を調査し、審査します。

○文教福祉常任委員会 (8名)

子育て・福祉・医療・年金・環境・学校・保育・公民館・体育関係などに関する事項を調査し、審査します。

●特別委員会

特定の問題について、調査・審議するため、必要に応じ設置される委員会です。内灘町議会では決算・環境開発対策・広報対策の三つがあります。

●議会運営委員会

副議長・2常任委員長・他2名で構成され、議会の運営・条例・規則等を協議します。

議会録画をご覧ください

●町ホームページで、インターネット配信されています。

議会録画中継 クリック

どちらでも クリック

議会 クリック

携帯から町のホームページへアクセス (議会録画は見るできません)

笑顔・みつけた

今回紹介する方は、鶴ヶ丘の清水美智子さんです。

◆「よっさこい」を始めた動機は？

○以前やっていたよさこいが楽しく、とても元氣になりました。障害のある方や高齢の方、子どもたちにもこんな楽しさを味わってほしいと、よさこい仲間3人で始めました。

◆「よっさこい」と名づけたのは？

○お互いに「よっさこい、よっさこい」と声を掛け合って仲良



よっさこい、よっさこい(中央が清水さん)

くなっていこうとの合言葉です。派手なメイクとおそろいの衣装でみんなが元氣よく輝くことが夢です。

◆連合女性会としても活躍ですが、一言お願いします？

○「一人の小さな手、何もできないけど、みんなの手と手を合わせれば何かできる」これは連合女性会の総会で合唱する歌詞です。この歌のように、大勢の方々との出会いや交流に、たくさんの財産をいただいています。

◆女性議会を経験されて、町や議会への要望はありますか？

○高齢になっても24時間「安心して住み続けられる町」を望みます。

◆町のお気に入りの点、または自慢の場所は？

○緑台から大清水台まで続く遊歩道です。雄大な日本海、さまざまな木々が目を楽しませてくれます。もっと木道をふやしてほしいですね。

◆議会を傍聴したことがありますか？

○あります。平日勤務のためなかなかできませんが、機会があったらもっと関心を持ちたいと思います。

インタビュー 北川悦子

編集後記

今年はじめての議会だよりとなります。

昨年は、3月11日の東日本大震災や8月末から紀伊半島へ上陸した台風12号の集中豪雨により多くの方々犠牲になり、また被災いたしました。

皆様にとっても忘れられない年となったのではないのでしょうか。

議会においても安全・安心のまちづくりをめざし、防災対策、防災計画のあり方について議論を進めています。

本年は、被災地の早期復興の年となるよう、また市民の皆様にとって、幸多き年となるように願っています。

(太田 臣宣)

広報対策特別委員会

- 委員長 中島 利美
- 副委員長 北川 悦子
- 委員 藤井 良信
- 委員 酒本 昌博
- 委員 太田 臣宣

私たちの一票が国をささえる

はやさがゆう



議会を傍聴しませんか

次の議会は**3月**に開催されます。傍聴の受付は、当日3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

